広報こすど
発行所 小須戸町公民館
新潟県中蒲原郡小須戸町
印刷発行 編集人 矢部藤三郎

小須戸小 統合十周年 創立九十周年 記念行事
実行委員会設立さる

教育を尊重し、子どもたちを愛することは小須戸町々民の伝統的美風とされております。

昭和三十年には、旧小須戸、横水、新保の三校統合校舎を建設し、越えて昭和三十四年には、近隣にさきがけて『学校プール』を新設する等、小異を捨てて大同につき、極めて積極的に小須戸町教育の進展に意欲と情熱を傾注して参っております。

このことは、町民各位ともに衷心よりご同慶に堪えないところでございます。

このたび、町立小須戸小学校が『統合十周年・創立九十周年』の記念すべき年を迎えるに当たり、これが記念行事の計画が発起せられ、去る五月二十日、志を同じくする町内有識各位のご参集のもとに発起人会を開き、会長には、現村山町長を推戴し、さらに広く有識諸賢のご賛同を求めて『記念行事委員会』の設立がみられるに至りました。

この『委員会』の発足を兼ねた第一回役員総会が、六月四日午前九時半より小須戸小学校において開かれ、この会の規約、組織機構及び役員が承認せられ、記念行事計画の大要についての協議がなされました。

なお、記念事業としては、①グランド・ピアノの新調。②児童用図書の充実。③校庭の環境整備が計画されております。

教育の歴史を偲び、現状を正視してさらに将来の躍進に備えることの意義は極めて大きいものがあると考えます。

幸いにして、広く町内外有識各位のご厚情とご支援をいただき、役員各位と相諮りながら計画事業を具体化して参りたいご念願でございますので、なにぶんともよろしくお願い申し上げます。

なお、本会の規約により、役員は、会長の委嘱によることとなっておりますので、発起人会のご推せんを受け、それぞれご委嘱申し上げた次第でございます。各位におかれては、公私共極めてご多用の折柄誠に恐縮に存じますが、まげてご承引をいただき、本会のため格段のご支援とお力添えを賜わりたいので、ここにご挨拶を兼ねて重ねてお願いを申し上げる次第でございます。

ごあいさつ

記念行事実行委員会々長
村山吉五郎

このたび、小須戸町立小須戸小学校が『統合十周年・創立九十周年』の佳き年を迎えるに当りまして、これに関係する有志各位の間に記念行事の計画が発起せられ、去る五月二十日に開かれた発起人会の席上、この『実行委員会』の会長に、私を推戴しようということに意見の一致が見られたというので、その翌日、発起人会の代表の方々から誠にごてい重な、就任のご懇請を受けたのであります。

小須戸小学校は、私にとりましては、まことに思い出も懐しい母校のことでもあり、町長は、学校の設置者でもある関係から、発起人会の熱意にも動かされ、その懇請を諒としてこの際会長をお引受けすることといたした次第でございます。

申し上げるまでもなく後進子弟の育成は、経済基盤の確立と併せて、小須戸町々勢伸展の二本柱であると確信している一人でもございますので、これを機会に、小須戸町教育の歴史を偲び、現状を正視してさらに将来の躍進に備えることの意義は極めて大きいものがあると考えます。

幸いにして、広く町内外有識各位のご厚情とご支援をいただき、役員各位と相諮りながら計画事業を具体化して参りたいご念願でございますので、なにぶんともよろしくお願い申し上げます。

なお、本会の規約により、役員は、会長の委嘱によることとなっておりますので、発起人会のご推せんを受け、それぞれご委嘱申し上げた次第でございます。各位におかれては、公私共極めてご多用の折柄誠に恐縮に存じますが、まげてご承引をいただき、本会のため格段のご支援とお力添えを賜わりたいので、ここにご挨拶を兼ねて重ねてお願いを申し上げる次第でございます。

子供を水から守りましょう

県下一せいに「子供を水から守る運動」が実施されています。

今年は一月より五月六日までにすでに三十四名の尊い生命が水死によって失われておりますが、このうち二十三名は五才以下の子供であります。実に七割が幼児であって五月に入ってからだけでも四日に一名、五、六日には二名ずつと「子供の日」を中心にした三日間に、五名も水死しています。これらの事故は、保護者が子守り中、ちょっとしたすきに誤って用水溜に落ちたり、幼い子供同志であぶない水辺で、遊んでいるうちに落ちたりしたものばかりです。

家事等で忙がしさのあまり、子供さんの監護がとかくおろそかになりがちですが、この悲しみをくりかえさないため、幼い子供から目をはなさないよう、また子供同志であぶない所で水遊びをしないよう十分に注意してください。

また家のまわりの危険な場所にはサクやフタをして、事故の起きないように注意して下さい。事故が起きてからではおそすぎます。

幼児の水死をなくすため次のことを守ってください。

一、幼児を一人遊びさせないこと。

一、幼児同志で遊ばせておかないこと。

一、父母が仕事のかたわら子守りをかねる場合は十二分に注意する。

一、祖父母、老人に子守りをたのむ場合はくれぐれも注意されたいこと

一、幼ない兄姉や遊んでいる附近のこどもに幼児を子守りさせることはさける。

一、家の周りにある危険な場所は、ナワ張り、サク、フタなどを完全にしておくこと。

赤ちゃん おめでとう

今年の優良児コンクール

芳郎ちやん

久美子ちやん

町では毎年乳幼児の健康診断を行ない発育の良好な乳幼児三十名を表彰しお母さん方の育児知識の向上につとめております

両親の健康は生れて来る赤ちやんの健康を左右しますのでお母さん方は正しい知識をもって育児につとめて頂きたいと思います。

昭和三十九年度小須戸町の優良児は左記の三十名が選れました。

男児

小須戸 内山芳郎 芳簡
小須戸 森田昭人 昭司
小須戸 渡辺瑞穂 輝穂
矢代田 石黒広幸 清司
小須戸 諏訪間昌志 淳一
小須戸 森田幸雄 喜代司
新保 石本勝昭 勝見
矢代田 白木学由 正
小須戸 渡辺誠哲 男
小須戸 板井宏明 潤三郎
小須戸 渡辺修欣二
矢代田 輝義輝男
小須戸 八木達治郎 常雄
横川 高野善朗 久栄

女児

小須戸 高橋久美子 金吾
小須戸 佐藤幸子 新治郎
矢代田 歌川素子 昭吾
小須戸 佐藤恵子 昭治
小須戸 山田夕子 均
新保 佐藤江理 弘次
小須戸 堀明子 延巳
横川 高野真由美 澄雄
小須戸 和泉桂子 修治
矢代田 坂井久美子 富一
小須戸 押見智子 久治郎
小須戸 小向野崎隆恵 隆平
小須戸 八木久美子 貴一
水田 横山久美子 進

三才児

小須戸 中川義夫 寅治
鎌倉 松尾順子 健一

保健衛生課

赤痢予防に

三十秒手洗いを

赤痢が発生しやすい季節となりました。全戸洩れなく三十秒手洗いによつて赤痢を予防いたしましょう

農薬危害防止運動月間

六月十日～七月九日まで

農薬による事故をなくそう

農薬は稲などの病害虫防除に使う、毒性の強いもので、正しい知識と正しい使い方を知ることが大切です。

新津保健所管内では昨年農薬撒布中に起きた事故が十六名、誤つて用いたことによる事故が七名もありました。

この原因はいろいろありますがそのほとんどが、農薬の毒性についての正しい知識を持たないでの使い方をしたためです。

次の農薬による中毒の主な原因及び注意事項を守って今年は農薬による事故をなくしましょう。

一、撒布作業中撒布者本人の不注意によるものが最も多く撒布途中で喫煙したり、農薬の付着した手を洗わずに食事した人達である。

二、不健康状態の人が撒布に従事して中毒した人が多い。これは病後の人、妊娠、睡眠不足の人、生理時の人達である。

三、次に本人の服装が悪かったため中毒をおこしている。これは素手、素足及びマスクをせずに撒布した人達である。

四、その他、農薬に対する知識が中途半端にその取扱いを粗雑にしたり、炎天下長時間撒布作業に従事したりした人達。

五、実施指導員の指導のもとに撒布せず勝手に撒布する人達。

注意事項

一、まず農薬撒布にあたっては、必ずゴム手袋、マスク等をし服装を整え、その取扱いは慎重に行い不健康な人は撒布作業に従事しないこと。

二、撒布作業は朝夕涼しい時を選び二～三時間で交替すること。

三、作業後は手足はもちろん全身を石けんでよく洗い、衣服は毎日取り替えること。

四、作業後、酒を飲んだり、夜ふかしをしないこと。

五、めまいがしたり頭痛がしたり気分が少しでも変になったら医師の診断を受けること。

遊具を贈る

本町小向出身で、現在東京八王子市八木町五九三枝梅子さんは今回横水保育所の遊具資金として、町へ金拾万円を寄附された。これについては親戚の民生委員である野崎春作氏の御協力によるもので、町ではこの多額の御寄附に感謝し、藍綬褒章の手続きをとることになった。

（写真は三枝さん）

交通安全推進の功労者表彰

小須戸町大字新保
農業 高山タキさん
六十才

こんど自宅が町道と十字路の曲り角にあって大道路添いの宅地に植えてあるツゲの垣根が最近高くなり、みとおしをさまたげ従って危険性が多いことから、自発的に曲り角を中心として各十メートルくらいずつの垣根を伐採、低くして見とおしをよくし、交通上の危険をとり除いたのであるが、この模範的な行為に対し春の交通安全運動がはじまった五月十一日付で、新津地区交通安全協会長と新津警察署長との連名で表彰をされた。

現在では、この附近を通る車も人も安心して通行できるようになり事故防止上関係者からたいへん感謝されている。

小須戸風土記

戊辰戦争前後の山の手地区

柏大治

こんな古いことよりも大東亜戦争のことを記録しておくことが、子孫のために急務かと思われますが、あまりに思い出が生々しいので、いますこし時間がほしいようです。しかし時間と空間は人間の記憶をうすらがせ、やがて無を生じさせます。記録はこうした意味からしてものこしておく必要があります。

天ヶ沢名主今井兼広氏の貴重な文献「戊辰日記」を発見したので、この日記を中心に維新の夜明け事情を記述したいと思います。

戦争はいつの時代でも人々を苦しめ、主戦論者と反戦論者がいて時代が大きく転換するとき、中道を守るとゆうことはなかなかむずかしかったようで、新発田藩でも東北軍にかたんするという主戦派と、官軍につくという反戦派との二派に別れていたようであります。

今井兼広氏の日記には七月二十九日（小須戸風土記の明治元年八月二十九日は誤記訂正）午刻昼まで小須戸兵火にはじまっていますが、八月九日官軍長州勢加茂出立、新津へ御止宿の趣に付矢代田助合人足十五人。申来りに付差出す。御勢三〇〇人位御通行。昭和二十年の進駐軍のように。

八月十日に同じ官軍の通行で四一名（兎谷九名蒲ケ沢三二名の助合を出せと達しがあります。官軍日々御通行相成るも難斗には屋敷等盛砂いし候

八月十一日新発田小荷駄方平田九右工門殿村松町にかえって営陣に付わらじ一五八足送り様、大庄屋元より御達に付才料勘兵衛人足二人差し出し申候。

官軍御国立人足唯今矢代田村へ相結る様、兎谷九人蒲ケ沢三二名申入候村上朝之内に落城仕候世相は、頻繁な往来の記録で知ることができます（矢代田行とあるのは新津からです）

○慶応四年二月十二日上二人馬二匹矢代田行右は桑名、八重子一九郎様御通行。

○三月二十五日上下三人早駕籠二挺右は桑名、河村直三郎様御通行。

○三月二十八日佐渕御警備の一隊小須戸町でお昼休み、寺泊行一行一七一名で新発田藩士。

○四月九日上一人、人足二人矢代田行。右は桑名、谷三十郎様御通行

○四月二十三日上下百四人、人足二人、馬七匹小須戸行（乗馬できる身分は二百以上の武士）

○五月（虫喰）一八五人矢代田行。右は米沢藩香阪、小倉、松本、岩井御通行に相成候。

香阪は米沢藩から長岡藩救援のためにできた一隊の長である。愈々戦雲急を告げているようです。

○五月八日上下一八一人矢代田行、右は会津藩木本隊御通行。

○五月十九日上下二七七人矢代田行、右は米沢藩斎藤、芋川、朝岡御通行。

○五月二十日上下七一二人、矢代田行。米沢藩の総督、色部長門の大隊で色部は新潟関屋で戦死をとげる。

○六月十一日上下三十人矢代田行。右は会津藩大兵隊。

○六月十三日上下一〇六名矢代田行。羽州上え山操御通行。

この他記録されていないものが、どれほど往来されたか想像されます。これらの一行は長岡藩急援部隊が大部分でありますが、矢代田から五泉にて帰隊する隊もあったようで、五泉は当時桑名領であります。

このころになりますと長岡軍の敗戦の色が濃くなってきまして、長岡城は善戦したにもかかわらず、慶応四年七月二十九日に落城していますが、敗戦と見た新発田藩では七月二十五日に密そかに領民に布告が溝口半兵衛実印の達しで「時情不得止奥羽同盟したが、その儀は王無二元儀二有之」奥羽不義の徒を打つべしと庄屋、名主に廻状を出しています。この前に一部の新発田藩士は官軍と共に行動しています。

村々の廻状予定は小須戸、横川へは八月九日となっていますが、ときすでにおそく七月二十九日新発田藩のむほんを知った会津藩は、町野源之助の一行が小須戸町に新発田藩士が潜伏していると名、谷三十郎様御通行吉田宇平次宅に火を放った。一説にはすでに前から滞在していたトンボ組が、敗戦の駄賃として軍用金を強要したが応じられず、放火というのが真相らしい。放火後は梅ノ木をさして遁走しています。この時二一五戸焼失しており、会津兵火といっております。（梁及目録参照）

今井兼広氏の日記には七月二十九日（小須戸風土記の明治元年八月二十九日は誤記訂正）午刻昼まで小須戸兵火にはじまっていますが、八月九日官軍長州勢加茂出立、新津へ御止宿の趣に付矢代田助合人足十五人。申来りに付差出す。御勢三〇〇人位御通行。昭和二十年の進駐軍のように。

八月十日に同じ官軍の通行で四一名（兎谷九名蒲ケ沢三二名の助合を出せと達しがあります。官軍日々御通行相成るも難斗には屋敷等盛砂いし候

八月十一日新発田小荷駄方平田九右工門殿村松町にかえって営陣に付わらじ一五八足送り様、大庄屋元より御達に付才料勘兵衛人足二人差し出し申候。

官軍御国立人足唯今矢代田村へ相結る様、兎谷九人蒲ケ沢三二名申入候村上朝之内に落城仕候

無料人権法律相談所の開設

私的制裁、村八分、強制圧迫、差別待遇、生活権等の侵犯。借地借家、登記戸籍、供託金銭関係其他民事、刑事の一般法律問題、訴訟扶助でお困り方、気軽に相談下さい。

他にもれることは絶対ありません。

期日　六月十五日（月）
　　午前十時より午後四時まで
場所　小須戸町公民館

体育の向上は健全な運動で

今年の町民運動会

期日　六月十四日（日）
場所　小須戸中学校グランドにて
　　午前九時集合
出場　七チーム
役員集合　午前八時三〇分
　　本部席テント前

第十九回新潟国体も無事終わり、県内の体育熱に花をそいでいる予定であります。また総合優賞のカップは、今までのものは矢代田チームが三年連続でとり、今年より優賞には町長杯を、児童リレーにも優賞杯、職場対抗リレーにも優賞杯を。一五〇〇米レースの優賞者にはトロフィを（一回でくれる）出すことにしておりますので、各職場児童のみなさんはりきって出場ください。入賞者の賞品も沢山用意しております。

みんなの参加で大会を楽しく

今年のプログラムは次の予定であります。（六時煙火打上。上げない時は次の日曜日）

開会式（九時三〇分）
一、開会あいさつ
二、来賓祝辞
三、杯の返還
四、審判長の注意
五、大会開始

午前の部
一、輪くぐりレース
二、一五〇〇米
三、ビンツリレース十時
㈠スプーンレース
五、風船割り
園児遊戯
七、球入れ（一分間）
八、児童リレー十一時
九、ざる引きレース
十、青年八〇〇リレー

中　食

午後の部
㈠タバコの火つけ一時
㈡職場対抗リレー
三、アベックレース
四、タルころがし
五、綱引き（三〇秒）二時
六、パン喰いレース
㈢来賓レース
八、青年女子
四〇〇リレー
九、年令別リレー　三時

（）印は得点にならず

閉会式（三時三〇分）
一、得点発表
二、優賞杯授与
三、公表
四、閉会のあいさつ

以上の予定で大会を開く予定であります。

ガンバレー　児童レース

チームのテント位置

各参加チームのテントの位置については、当日も石灰で記しておきますが、今年度のテント席は小学校側にはりたいと思います。

小学校職員玄関前が本部席となり、運動場側より小須戸分館第三、第四、第一、第二の各チームとなり、本部席をはさんで新保、横水、矢代田分館の各テント位置となります。おまちがいのないようにお願い致します。尚前日、当日の役員はごめんどうでしょうが、御協力方お願い致します。

日本脳炎予防

接種の申込みについて

日本脳炎は小児マヒにより希望を取りまとめることとになっておりますから二重に申込みのないよう御注意願います。

1.対象者
初回該当者
昭和三十八年二月一日より同年十二月三十一日までに生れたものは二回実施し、その外のものは一回だけ実施すればよい。

2.手数料
初回該当者　二六〇円
追加該当者　一三〇円

3.申込〆切　六月十五日
保健衛生課

農家へ維持資金等を融資

農家の皆さん次の融資制度をご存じですか。

一、自作農維持資金

(1)この資金の対象になるものは次の通りです
(イ)農地の取得により発生した負債整理に充当する資金
(ロ)相続による資金
(ハ)疾病負傷等医療費に充当する資金
㈠災害等による再建及び農作物の被害による減収の補てんの資金
(2)利率　年五分
(3)貸付金額の限度額
最高三〇万円
(4)償還期間
二〇年（内据置期間三年以内）

二、農地等取得資金及び未墾地等取得資金

農家の皆さん次の融資制度をご存じですか。

一部改正について農地等取得資金及び未墾地等取得資金の利率が次の通り改正されました。従来の四分資金と四分五厘資金が廃止され本年度より一律三分五厘と大巾に改正されました。

注農地等取得資金とは農業を営む個人又は農業生産法人が農地又は採草放牧地を取得するに必要な資金を国が融資する事をいう。

◎貸付条件について
(1)利率　年三分五厘
(2)貸付金額の限度額
(イ)農業を営む個人にあっては八〇万円を最高とする
(ロ)農業生産法人にあっては三〇〇万円を最高とする
(ハ)従来の自作農維持創設資金を借りておる人であっても農地を取得した場合本資金に該当致します。
(3)償還期間
二十五年（内据置期間三年以内）

なお詳細については農業委員会事務局に御相談下さい。

赤痢予防に三十秒手洗いを

道路は広く使いましょう

当町において新しく交通規制が、しかれましたがこれを機会に、できるだけ道路を広く使われるよう、各商店等の御協力をお願い致します。

一、日よけ天幕について

これから夏にかけて道路に面した店などで日よけを道路に突き出す家が多くなるが、これはそれだけ道路幅を狭くするとともに、見とおしをさまたげることになり、交通上危険であるから、直すよう考慮していただきたい。特に曲り角に日よけが出ていると一層危険である。

もし車のすれ違いの際などで、かりに日よけが破損されることがあったとしても、その責任は道路上へ日よけを出した側にあることになる。

二、自転車の置き方について

自転車の置き方一つでも、みんなが注意すれば道路を少しでも広く使うことができるだろう。

その正しい置き方は次のとおり。

㈠歩車道の区分のない場所で、一台か二台の場合は道路端に平行させること。

数の多い場合は、斜めにして並べる。

㈡歩車道の区分のある場所では、歩道（雁木を含む）にかけて斜めに並べること向きは、左右どちらでもよいがその場所ごとにどちらかに統一して整頓すること。

三、雁木下をあけること

雁木はたとえ私有地であっても、一般の人が自由に通行できる場所であるから、交通法規の上では準道路である。

もし雁木下に資材や商品等を置いて通れなくすると、歩行者はやむを得ず車道に出なければならず、そうすると交通の危険が生ずるおそれがある。

従って雁木下はできるだけあけておいていただきたい。

青少年施設を視察

小須戸町青少協で

さる五月二十六日小須戸町青少年問題協議会主催で、北蒲原郡における青少年育成施設視察、名勝名跡探勝幾多の好資料を得てきました。

○いじみの学園

知恵のおくれた子供を収容して、生活指導と職業教育を行ない、独立自活に必要な知識技能を習得させるものであります。瀬高園長の苦心談は涙なくてはきかれぬ尊い体験談でした。

この施設は職員十八名園児五十名で、昭和三十三年六月の創設であり県下で六カ所あります。しつけ教育が基盤で職業訓練を施し、園児の楽園として愛の手で育てている園児一人たすけることは社会全体の念願としてもりたててやる。園児一人教育する一年の経費二十万円あまり。この園に努める職員は愛の権化であると感銘深きものでした。

○大友稲荷

由緒深い稲荷様で、参詣人も多く霊験あらたかなところから、信仰者が前源頼朝の叔父君護念上人の開基であります。本尊不動明王は印度のビンユカソマの御作で、支那を経て伝教大師によって我が国に諸来された三国伝来の御像であります。

○清水園

明治元年戊辰の役に新発田藩主独り勤王を持して兵火の厄を免れ、今日史蹟として参観者が探勝にきております。清水園は溝口候の下屋敷としてつたえられ、面積四千六百坪古来清水谷御殿とも称された。

昭和二十九年には県の文化財に指定。庭園は中央に清冽な水を万々と湛えて常緑の樹影を宿し幽邃な趣を添えている。様式は近江八景をかたどり純京都風の作庭で、北陸随一と称されております。

ここより小須戸町へ帰りました。

募集　社会見学

期日　七月五日（日）
方面　新潟市内産業、工場関係の見学
経費　六百円予定
　　（中食つき）
定員　五十五名で〆切
　　六月三十日までに
　　小須戸公民館へ

行政苦情の相談は五日と二十日に

毎月五日と二十日は行政苦情相談所が、小須戸町公民館において開設されます。役所のやり方について納得できないことを、解決してくれます。

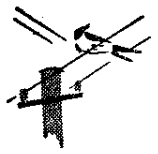
民事、刑事の裁判ごと金銭の貸借関係、家庭関係、住宅あっせん、結婚相談については、人権法律相談所でどうぞ。

第十三回写生・席書展

期日　六月二十日二十一日の両日
　　午前九時より午後四時まで
場所　小須戸町公民館

主催　小須戸町教育振興会
　　小須戸町美術同人会
後援　小須戸町教育委員会
　　小須戸町公民館

新刊図書



菊村　到
○魅惑
○絢爛たる流離
松本清張
○水の炎
○失踪
○黒いヒマラヤ
陳舜臣
○みな殺しの歌
大藪春彦
○感傷旅行
田辺聖子
○落鮎
丹羽文雄
○新宿夫人
富田常雄
○わたしが棄てた女
遠藤周作
○うちの社長
源氏鶏太
○銀座立志伝
源氏鶏太
○突撃三四郎
城戸　礼
○燃えよ剣
司馬遼太郎
○風来忍法帖上
山田風太郎
○山女魚・岩魚・鮎
○風来忍法帖（下）
山田風太郎
○鳴門太平記（巻一）
〃（巻二）
〃（巻三）
富田常雄
○世界の都市をめぐって
柴田徳衛
○那智滝情死考
水上　勉
○赤い燈台
水上　勉
○よりぬきサザエさん
長谷川町子
○負けるが勝ち
邦光史郎
○女窪
瀬戸内晴美
○発掘
曾野寿彦
○反逆児
南条範夫
○抱擁記
江崎誠致
○浪費の顔
田辺茂一
○みれんな刑事
多岐川恭
○へそのない本
北　杜夫
○柚原小ばな
壺井　栄
○お嬢さんお手をどうぞ
若山三郎
○ビーズ（パールスパングル）
主婦之友社
○ヴォーグレース編全集
瀬戸忠信

供養

小須戸町俳句同好会

水口を小鮒上りぬ種おろし　渓灯
入れ歯にもなれて噛む音根浅葱　水月
蓮根掘る柔道教師日曜日　杏水
味噌玉を刻むや苗代寒つづく　虚秋
花冷えの宿の炬燵で酌みかわし　山葵
種芋の芽をいたわりて箕の中に　竜朗
百姓の馬鹿正直や蔓苗　喜雨
草餅や古里遠し新任地　芳人
籾蒔いてそれから続く雨ばかり　香月
雨の日のつづけばほぐす楓の緋　紫川
村はづれへきてシャツぬぐ春陽かな　流水